

令和7年9月10日

**【重要】造血幹細胞移植支援システム 医療機関支援機能
システム改修による仕様変更について**

平素より造血幹細胞移植支援システム「医療機関支援機能」をご利用いただき、誠にありがとうございます。この度「医療機関支援機能」でシステム改修による仕様変更をさせていただくこととなりましたので、下記のとおりご案内いたします。

記

■仕様変更内容

1. JMDP 患者本登録後の患者様が転院する場合、転院先で医療機関支援機能の利用を可能とします。

※臍帯血希望の患者様が転院する場合には、従来通りのご対応をお願いいたします。

【現行】

JMDP 患者本登録後の患者様が転院する場合、転院先で医療機関支援機能をご利用いただけません。

※転院先で医療機関支援機能を利用した患者様の一元的な管理ができず、転院先でドナー申込を行う場合は、FAX を用いて日本骨髄バンク 移植調整部に直接申込みいただいております。

【変更後】

JMDP 患者本登録後の患者様が転院する場合、転院元、転院先それぞれで医療機関支援機能にて必要な操作を行うことで転院先でも医療機関支援機能の利用を可能とします。

2. 新規で以下①及び②の画面を追加します。

① 「患者転院」画面

・転院元で転院先に患者様の転院依頼を行えるようにします。

② 「転院患者一覧」画面

・所属施設から転院依頼中の患者様、所属施設に転院依頼が来ている患者様を一覧で表示します。転院元で患者様の転院依頼の取消、転院先で患者様の転院の受入・取消を行えるようにします。

3. 「患者情報照会」画面に「患者転院」画面に遷移するボタンを追加します。

4. ハンバーガーメニューに「転院患者一覧」画面へ遷移するメニューを追加します。

5. 新規で以下①から④の医療機関支援機能から送信されるメールを追加します。
- ① **【医療機関支援機能】転院依頼の通知**
 - ・転院元で患者様の転院依頼時に転院先の利用者に送信するメール。
 - ② **【医療機関支援機能】転院完了の通知**
 - ・転院先で患者様の転院受入時に転院元で転院依頼を実施した利用者に送信するメール。
 - ③ **【医療機関支援機能】転院取消の通知**
 - ・転院元で患者様の転院の取消が行われた場合は転院先の利用者に送信し、転院先で患者様の転院の取消が行われた場合は転院元で転院依頼を実施した利用者に送信するメール。
 - ④ **【医療機関支援機能】転院手続き実施のお願い**
 - ・転院先で転院手続き中の患者様の受入または取消が実施されていない場合、転院先の利用者に転院手続き中の患者様がいることをお知らせするメール。
6. JMDP に JMDP 患者登録同意書が届いていない場合、患者登録後5日を経過すると、システムから担当医師に送付されるメール「**【医療機関支援機能】同意書送付のお願い**」の内容について、セキュリティの観点からメールに記載する患者情報を見直します。

■リリース時期

2025 年 9 月中旬～下旬予定

変更後の仕様の詳細は、別途お知らせいたします。

何卒ご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

以上

お問合せに関しては以下の窓口までお願いいたします。

※お問合せは、原則、問合せフォームのご利用をお願いいたします。

なお、移植の停止や遅延につながるような緊急時に限り、造血幹細胞移植支援システム・ヘルプデスク担当の電話受付にお問合せいただきますようお願いいたします。

お問合せ方法	受付時間	お問合せ先
オンラインでのお問合せ	24 時間 (ヘルプデスク営業時間内での ご対応となります。)	造血幹細胞移植支援システム・ヘルプデスク お問合せ Web フォーム https://www.bs.jrc.or.jp/bmdc/iryotoiawase_input.html
緊急時お問合せ先	9:00～17:00 ※火・土日祝日・夏季休業・ 年末年始(12/29～1/3) およ び日本赤十字社休業日(5/1) を除く	造血幹細胞移植支援システム・ヘルプデスク 電話：03-6834-4363

造血幹細胞移植支援システムに関する最新情報は、造血幹細胞移植情報サービス「お知らせページ」をご参照ください。

造血幹細胞移植情報サービス「お知らせページ」：

https://www.bs.jrc.or.jp/bmdc/medicalpersonnel/m5_07_notice.html

日本赤十字社 血液事業本部
造血幹システム担当